

一宮市病院事業経営強化プラン
点検・評価報告書
(2024 年度実績)

2025 年 10 月

一 宮 市

目 次

1. はじめに	1
2. 経営強化に向けた取組	
(1) 役割・機能の最適化と連携の強化	1
(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革	9
(3) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組	11
(4) 施設・設備の最適化	12
(5) デジタル化への対応	13
(6) 経営の効率化等	14
(7) 収支計画と 2024 年度決算	18
3. 総 括	22

一宮市病院事業経営強化プランの点検・評価（2024年度実績）

1 はじめに

2022年3月に総務省から「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）が示され、2024年度から2027年度までの4年間を計画期間とした「一宮市病院事業経営強化プラン」（以下「強化プラン」という。）を2023年12月に策定しました。

急激な少子高齢化や医療技術の進歩、人件費や物価の急激な高騰など医療を取り巻く環境が大きく変化しています。当病院事業が尾張西部医療圏における持続可能な医療提供体制を確保していくためには、健全な事業運営が不可欠であることから、強化プランに基づき経営強化に取り組みました。

2024年度における取組みの実施状況について、点検及び評価結果は次のとおりです。

2 経営強化に向けた取組

（1）役割・機能の最適化と連携の強化

【市民病院】

① がん医療

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
外来化学療法件数(件)	目標値①	—	5,700	5,800	5,900	6,000
	実績②	5,932	5,524			
	達成率②/①(%)	—	96.9			
放射線治療実患者数(人)	目標値①	—	270	270	270	270
	実績②	327	305			
	達成率②/①(%)	—	113.0			
院内がん登録件数(件)	目標値①	—	1,510	1,520	1,530	1,540
	実績②	1,513	1,417			
	達成率②/①(%)	—	93.8			

〈実施状況と評価〉

外来化学療法件数及び院内がん登録件数は、近隣医療機関ががん診療連携拠点病院の指定を受けた影響により当院へのがん患者の紹介数が減少し、目標値及び2023年度実績のいずれも下回りました。放射線治療実患者数は、目標値を上回ったものの2023年度実績を下回りました。

引き続き、地域医療機関との連携を強化し、新規患者の受け入れ拡大に向けた取組みを進めます。

② 脳卒中対策

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
脳卒中退院患者数(人)	目標値①	—	420	430	440	450
	実績②	312	316			
	達成率②/①(%)	—	75.2			
上記患者の 平均在院日数(日)	目標値①	—	20.2	20.0	19.9	19.8
	実績②	21.9	21.8			
	達成率①/②(%)	—	92.7			

〈実施状況と評価〉

脳卒中退院患者数は、紹介患者数の減少に加え、脳神経外科医が前年度から1名減員となったため、目標値を下回ったものの2023年度実績を上回りました。平均在院日数は、目標値には達しませんでしたが、2023年度実績より短縮できました。

脳神経外科の医師を3人から7人に増員し2025年5月に脳卒中センターを開設しました。これにより、24時間365日の常駐対応が整い、患者数の増加が見込まれます。また、クリニカルパスの適応症例拡大やリハビリテーションの早期実施、ベッドコントロールの適正化に取り組み、平均在院日数の短縮を図ります。

③ 心血管疾患対策

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
心血管疾患退院患者数(人)	目標値①	—	2,000	2,050	2,100	2,150
	実績②	1,770	1,906			
	達成率②/①(%)	—	95.3			
上記患者の 平均在院日数(日)	目標値①	—	12.4	12.2	12.1	12.0
	実績②	12.5	12.7			
	達成率①/②(%)	—	97.6			
心血管内治療件数(件)	目標値①	—	980	1,000	1,020	1,040
	実績②	827	779			
	達成率②/①(%)	—	79.5			

〈実施状況と評価〉

循環器内科で一時的に医師数が減少した期間があったことなどにより、心血管疾患退院患者数は、目標値を下回ったものの2023年度実績を上回りました。平均在院日数は、目標値には達せず、2023年度実績と比べて短縮できませんでした。心血管内治療件数は、目標値及び2023年度実績のいずれも下回りました。

引き続き、地域医療機関及び救急隊との連携を強化し、新規患者の受け入れ拡大に向けた取組みを進めます。また、クリニカルパスの適応症例拡大やリハビリテ

ーションの早期実施、ベッドコントロールの適正化に取り組み、平均在院日数の短縮を図ります。

④ 救急医療

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
救急搬送件数(件)	目標値 ①	—	6,700	6,900	7,100	7,200
	実績 ②	6,864	6,873			
	達成率 ②/①(%)	—	102.6			

〈実施状況と評価〉

救急搬送件数は、目標値及び2023年度実績のいずれも上回りました。

引き続き、救急隊との連携を強化し、救急患者のスムーズな受入れに向けた取組みを進めます。

⑤ 周産期医療及び小児医療

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
分娩件数(件)	目標値 ①	—	450	450	450	450
	実績 ②	390	351			
	達成率 ②/①(%)	—	78.0			
ハイリスク分娩数(件)	目標値 ①	—	240	240	240	240
	実績 ②	217	194			
	達成率 ②/①(%)	—	80.8			
母体搬送数(件)	目標値 ①	—	70	70	70	70
	実績 ②	48	63			
	達成率 ②/①(%)	—	90.0			
新生児入院患者数(人)	目標値 ①	—	250	250	250	250
	実績 ②	207	201			
	達成率 ②/①(%)	—	80.4			
新生児搬送数(人)	目標値 ①	—	70	70	70	70
	実績 ②	72	74			
	達成率 ②/①(%)	—	105.7			
小児新入院患者数(人)	目標値 ①	—	1,600	1,600	1,600	1,600
	実績 ②	1,709	1,769			
	達成率 ②/①(%)	—	110.6			

〈実施状況と評価〉

新生児搬送数及び小児新入院患者数を除くすべての項目で目標値を達成することはできませんでしたが、新生児搬送数及び小児新入院患者数は目標値及び2023年度実績のいずれも上回っており、地域周産期母子医療センターとして一定の役

割を果たしているものと考えられます。

引き続き、地域周産期母子医療センターとしての役割を果たせるよう、設備の維持及び医師、助産師等の人材確保に努めます。

⑥ 医療機能

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
手術件数(件)	目標 値 ①	—	4,800	4,900	4,950	5,000
	実 績 ②	4,691	4,887			
	達成率 ②/①(%)	—	101.8			
手術件数のうち 全身麻酔(件)	目標 値 ①	—	2,260	2,300	2,330	2,350
	実 績 ②	2,339	2,247			
	達成率 ②/①(%)	—	99.4			

〈実施状況と評価〉

手術件数は、目標値及び2023年度実績のいずれも上回りましたが、手術件数のうち全身麻酔件数は、目標値及び2023年度実績のいずれも下回りました。

引き続き手術件数の増加に向けて取り組むとともに、手術室等の効率的な運用を進め全身麻酔件数の増加にも努めます。

⑦ 医療の質

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
クリニカルパス使用率 (%)	目標 値 ①	—	60.0	62.0	64.0	66.0
	実 績 ②	55.5	56.1			
	達成率 ②/①(%)	—	93.5			
患者満足度調査 (5点満点)	目標 値 ①	—	4.10	4.15	4.20	4.25
	実 績 ②	3.93	4.10			
	達成率 ②/①(%)	—	100.0			
在宅復帰率 (%)	目標 値 ①	—	95.1	95.2	95.3	95.3
	実 績 ②	97.1	97.0			
	達成率 ②/①(%)	—	102.0			

〈実施状況と評価〉

クリニカルパス使用率は、クリニカルパスの適応症例の拡大や内容の見直しを行ったことにより目標値を下回ったものの2023年度実績を上回りました。引き続き、適応症例拡大と内容の見直しを行い、利便性と使用率の向上に努めます。

患者満足度は、目標値を達成し2023年度実績を上回りました。寄せられた意見を患者サービス向上委員会で隨時検討し、対応を進めることで患者満足度の向上に努めます。

在宅復帰率は、目標値を上回ったものの2023年度実績を下回りました。引き続きケアマネージャー等と連携し、退院後も住み慣れた自宅で療養や生活を継続できるよう、在宅復帰支援に努めます。

⑧ 連携強化

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
紹介率(%)	目標値①	—	81.8	81.9	82.0	82.1
	実績②	79.2	81.1			
	達成率②/①(%)	—	99.1			
逆紹介率(%)	目標値①	—	113.5	114.0	114.5	115.0
	実績②	119.6	138.1			
	達成率②/①(%)	—	121.7			
転院患者数(人)	目標値①	—	1,010	1,020	1,030	1,040
	実績②	1,059	1,196			
	達成率②/①(%)	—	118.4			
地域連携クリニック パス使用数(件)	目標値①	—	298	306	314	322
	実績②	245	346			
	達成率②/①(%)	—	116.1			

〈実施状況と評価〉

紹介率は、目標値を下回ったものの2023年度実績を上回りました。逆紹介率、転院患者数及び地域連携クリニックパス使用数は、すべての項目で目標値及び2023年度実績のいずれも上回りました。

紹介患者数の増加に向けて、地域医療機関への訪問活動や情報発信等を計画的に実施し、地域医療機関との連携強化を一層推進していきます。

⑨ 医師・看護師の確保

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
常勤医師数(人)	目標値①	—	154	156	158	160
	実績②	153	153			
	達成率②/①(%)	—	99.4			
常勤看護師数(人)	目標値①	—	625	630	635	640
	実績②	648	669			
	達成率②/①(%)	—	107.0			
臨床研修医受入人数 (人)	目標値①	—	14	14	14	14
	実績②	14	14			
	達成率②/①(%)	—	100.0			

〈実施状況と評価〉

常勤医師数については、関係大学医局からの医師派遣数の減少により目標値を下回ったものの2023年度実績と同数となりました。常勤看護師数は、目標値及び2023年度実績のいずれも上回りました。また、臨床研修医受入人数では、実績と目標値が同数となり目標を達成しました。

医師の確保対策については、地域の基幹病院として豊富な症例を有すること、研修・教育体制が整備されていることなど医師派遣メリットを関係大学医局に対し積極的にPRし、医師派遣数の増加を目指した要望活動を継続的に実施しています。

【木曽川市民病院】

① 医療機能

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
リハビリ実施人数(人)	目標値①	—	39,607	40,022	40,438	40,959
	実績②	42,407	42,245			
	達成率②/①(%)	—	106.7			
リハビリ単位数	目標値①	—	129,718	131,078	132,440	134,144
	実績②	135,691	133,616			
	達成率②/①(%)	—	103.0			
透析患者数(人)	目標値①	—	8,200	8,200	8,200	8,200
	実績②	7,940	8,034			
	達成率②/①(%)	—	98.0			
健康診断受診者数(人)	目標値①	—	1,175	1,200	1,250	1,300
	実績②	1,103	1,071			
	達成率②/①(%)	—	91.1			

〈実施状況と評価〉

リハビリ実施人数及びリハビリ単位数は、目標値を上回ったものの2023年度実績を下回りました。透析患者数は、新規患者の減少により目標値を下回ったものの2023年度実績を上回りました。今後も、紹介患者数及び転院患者数の増加に向けて、地域医療機関との連携強化を一層推進していきます。

健康診断受診者数は、受診者数がコロナ禍前の水準まで回復していないことから目標値及び2023年度実績のいずれも下回りました。引き続き、ホームページ等で周知を行い、受診者数の増につなげていきます。

② 医療の質

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
患者満足度調査 (5点満点)	目標値 ①	—	4.10	4.15	4.20	4.25
	実績 ②	3.92	4.00			
	達成率 ②/①(%)	—	97.6			
在宅復帰率 (地域 包括ケア) (%)	目標値 ①	—	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績 ②	84.4	83.8			
	達成率 ②/①(%)	—	104.8			
在宅復帰率 (回復期リハビリテー ション) (%)	目標値 ①	—	87.0	87.0	87.0	87.0
	実績 ②	90.0	84.5			
	達成率 ②/①(%)	—	97.1			

〈実施状況と評価〉

患者満足度は目標値を下回ったものの 2023 年度実績を上回りました。

地域包括ケアの在宅復帰率は目標値を上回ったものの 2023 年度実績を下回りました。また、回復期リハビリテーションの在宅復帰率は、目標値及び 2023 年度実績をいずれも下回りました。

患者満足度調査の結果を詳細に分析し、改善に努めていきます。

③ 連携強化

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
紹介率 (%)	目標値 ①	—	75.2	75.2	75.2	75.2
	実績 ②	72.3	77.7			
	達成率 ②/①(%)	—	103.3			
逆紹介率 (%)	目標値 ①	—	45.8	45.9	46.0	46.2
	実績 ②	50.4	54.1			
	達成率 ②/①(%)	—	118.1			
転院受入患者数(人)	目標値 ①	—	534	539	544	552
	実績 ②	599	609			
	達成率 ②/①(%)	—	114.0			

〈実施状況と評価〉

紹介率、逆紹介率及び転院患者数は、いずれも目標値及び 2023 年度実績を上回りました。

引き続き、地域医療機関との連携を強化し、病院の特性を活かした患者の受入れを一層推進していきます。

④ 医師・看護師の確保

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
常勤医師数(人)	目標値①	—	9	10	10	10
	実績②	9	9			
	達成率②/①(%)	—	100.0			
常勤看護師数(人)	目標値①	—	72	72	72	72
	実績②	68	73			
	達成率②/①(%)	—	101.4			

〈実施状況と評価〉

常勤医師数及び常勤看護師数は、いずれも目標値及び2023年度実績を上回りました。

(2) 医師・看護師の確保と働き方改革

① 医師・看護師等の確保

医師については関係大学医局との連携を強化し、現場のニーズに即した医師派遣要請を行うことで、安定的な診療体制の維持に努めました。

看護師については、看護体験や病院見学の実施、求人機関やウェブサイトの活用など積極的な求人活動を行い、市民病院では募集定員に対して 1.47 倍の応募がありました。今後も、応募手続きの電子化や看護体験機会の拡充など多様な採用戦略により優秀な人材の確保を図ります。

また、全職種を対象に研修や資格取得支援を推進し、職員のスキル向上を支援しました。引き続き、キャリア形成支援を充実させ、職員満足度の向上に努めます。

② 臨床研修医の受け入れ等を通じた若手医師の確保

市民病院では、医学生を対象とした臨床研修病院合同説明会においてブース設置数を増加させた結果、ブース訪問者数は 2023 年度と比べ 2 倍に増加しました。また、インスタグラムアカウントの開設やオンライン説明会を開催し、全国の医学生に向けて P R に努めたことにより見学者数及び応募者数は増加しました。

初期臨床研修では、必修診療科はもとより選択診療科においてもきめ細かい教育・指導を行い、基本的な診療能力を習得しチーム医療に貢献できる医師を育成しています。専門研修は、当院での専門研修に加え、大学病院や連携施設へのローテートにより多彩な症例を経験できるプログラムとなっています。また、初期研修医向け説明会の開催や外部研修医からの見学希望を積極的に受け入れ、専門研修プログラムへの応募者を募り若手医師の確保に努めました。

引き続き積極的な情報発信に努めるとともに、信頼される医師を育成するため、研修内容を見直し向上させていきます。

③ 医師の働き方改革への対応

医師の働き方改革の一環として、出退勤システムによる労働時間の管理を徹底しています。当直明け日の帰宅の徹底や、チーム医療の推進、さらにはタスクシフト・シェアの取組みにより、医師の業務負担軽減を図りました。その結果、市民病院では、時間外勤務が年間 960 時間を超える医師の数は、2023 年度の 19 人から 2024 年度には 6 人へと 13 人減少しました。また、長時間労働医師への面接指導も漏れなく実施しました。なお、木曽川市民病院については、時間外勤務が年間 960 時間を超える医師はいませんでした。

今後も、タスクシフトの更なる推進、勤務シフトの見直しなどに取り組み、医師が働きやすい職場環境の実現を目指します。

市民病院における職種別のタスクシフト・シェアの進捗状況と今後の取組みは、次表のとおりです。

職種	内容	2024年度の状況	2025年度以降の取組み
看護師	事前に取り決めたプロトコールに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施、救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく採血・検査の実施、血管造影・画像下治療(IVR)の介助、注射、採血、静脈路の確保等、カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為、診察前の事前情報収集	特定行為研修を修了した看護師が10名となり、一部の診療科や病棟等においてタスクシフト・シェア可能な業務を実施しました。	特定行為研修を修了した看護師の育成をさらに推進し、各診療科、病棟等におけるタスクシフト・シェア可能な業務の拡充を目指します。
薬剤師	周術期の薬学的管理等、病棟等における薬学的管理等、事前に取り決めたプロトコールに沿って行う処方された薬剤の投与量の変更等、薬物療法に関する説明等、医師への処方提案等の処方支援	すべての領域において、タスクシフト・シェアを実施しました。	継続的な取組みを行い、推進していきます。
診療放射線技師	画像誘導放射線治療(IGRT)における画像の一次照合等、放射線管理区域内での患者誘導	実施可能とされているタスクシフト・シェア業務のうち、半数以上の業務を実施しました。	引き続き、業務の拡大を推進していきます。
臨床検査技師	外来における採血業務	外来における採血業務は、概ね実施しました。また、外来、病棟等の超音波検査の半数以上を実施しました。	引き続き、業務の拡大を推進していきます。
臨床工学技士	人工心肺を施行中の患者の血液、補液や薬剤の投与量の設定及び変更、全身麻酔装置の操作、各種手術等において術者に器材や医療材料を手渡す行為、生命維持管理装置を装着中の患者の移送	すべての領域において、タスクシフト・シェアを実施しました。	継続的な取組みを行い、推進していきます。
医師事務作業補助	医師事務作業補助者の増員	医師事務作業補助者を2名増員しました。	医師事務センターの設立により、業務の効率化を推進するとともに、すべての対象業務の実施を目指します。

（3）新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

【市民病院】

① スタッフの配置体制、施設の整備等計画的な取組

平時より結核病床には必要な看護師を配置しており、感染症病床を使用することとなった際の応援体制も整備しています。また、2024年4月1日付けで、愛知県と「新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は感染症に係る医療を提供する体制の確保に必要な措置に関する協定（医療措置協定）書」を締結しました。これにより、新興感染症等の拡大時には、愛知県からの要請に基づき一般病棟でも感染症患者の受入れが可能となります。

2025年度には、新興感染症対応力強化事業（協定締結医療機関（設備）整備事業）補助金を活用し、検体採取における患者負担の軽減と迅速な確定診断を可能とするPCR検査機器を導入予定です。

② 専門人材の確保・育成

感染管理認定看護師2名に加え、2024年度に1名を院内認定看護師（エクセレントナース）教育課程で育成しました。今後は、感染管理認定看護師2名がエクセレントナースの活動を支援し、日本看護協会の認定看護師資格取得を目指すとともに、感染管理における院内認定看護師（エクセレントナース）教育課程における看護師育成も継続していきます。

また、感染制御チーム（ICT）による週1回のラウンドを実施し、院内の感染対策状況を確認するとともに、各部署のリンクナースと連携し、現場職員への感染対策に関する知識や技術の普及に努めました。引き続き、感染対策活動を継続し、職員の感染対策に対する意識向上を図っていきます。

③ 感染防護具等の備蓄

2024年度において、愛知県と締結した協定書に基づき、サージカルマスク、N95マスク、アイソレーションガウンなどの個人防護具を必要数整備し、感染対策の強化を図りました。

④ 地域医療機関を対象とした院内感染に関する会議の開催

尾張西部医療圏の医療機関間で感染症対策の情報共有と連携を図るため、合同カンファレンスに参加し、抗菌薬使用状況、耐性菌検出状況、手指消毒実施状況を共有するとともに、各医療機関の感染対策に関する意見交換を行いました。今後も、保健所、医師会等と連携してこれらの取組みを継続するとともに、当院及び尾張西部医療圏における感染症対策の一層の充実を図ります。

(4) 施設・設備の最適化

【市民病院】

① 器械備品等更新、整備

器械備品のうち医療機器については、各部署からの申請に基づき必要性、優先度、緊急性等のヒアリングを関係部署に対し実施しています。その結果を踏まえて総合的な判断を行い、必要と認められる場合には価格交渉を行ったうえで、購入を決定しています。引き続き、適正価格での購入を徹底し、コスト削減を目指します。

2024年度は、主なものとして、血管造影撮影装置、X線撮影システム、院内ネットワークシステムの整備を計画していました。このうち、血管造影撮影装置及びX線撮影システムについては整備を完了しました。なお、2024年に更新を予定していた院内ネットワークシステムについては、支出抑制の観点から2025年度に更新を先送りしました。

② 施設等更新、改修

施設等の老朽化に対応するとともに予防的観点からも、修繕及び更新を計画的に実施しています。これにより、将来的な大規模修繕に伴うコストの抑制や、施設の安全性、機能性の維持が図られます。

2024年度は、主なものとしてB棟ガス給湯器更新工事を計画し、年度内に完了しました。

【木曽川市民病院】

① 器械備品等更新、整備

器械備品のうち医療機器については、各部署に対し機器更新に係るヒアリングを行い、必要性や優先度、緊急性などを総合的に判断したうえで機器を選定し、過剰投資にならないように購入総額を決め、価格交渉を行ったうえで購入しています。引き続き、適正価格での購入を徹底し、コスト削減を目指します。

2024年度に計画していた磁器共鳴断層装置の整備は、経営の安定化を図るため、2026年度以降に延期としました。

② 施設等更新、改修

施設等の更新及び改修については、市民病院と同様、老朽化が進行していることから、修繕及び更新を計画的に実施しています。

2024年度は、主なものとして、本館エレベーター更新工事を計画し、年度内に完了しました。

(5) デジタル化への対応

① オンライン資格確認システムの活用

資格確認端末は、2025年7月時点では、市民病院では6台体制で運用しており、マイナ保険証の利用率は34%となっています。また、木曽川市民病院では2台体制で、マイナ保険証の利用率は59%となっています。

自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム（PMH）の先行事業として、市民病院では、小児慢性特定疾病医療、子ども医療、障害者医療等の医療費助成がマイナンバーカードで利用可能となりました。

今後は、PMHへの更なる参画を進めることで、指定難病等の医療費助成や福祉医療関係受給者証等のデジタル化を推進し、医療サービスの質の向上と効率化を図ります。

② 情報セキュリティ対策

情報セキュリティ対策として、WEB形式で情報セキュリティに関する教育を実施しました。また、サイバーセキュリティ対策業務継続計画（BCP）を策定し、電子カルテが停止した想定での訓練を行いました。

引き続き、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等を踏まえ、情報セキュリティ対策の強化に努めます。2025年度にはその一環として、総務省主催のサイバー防御演習「CYDER」への参加を予定しており、組織全体のセキュリティ体制の強化を一層推進していきます。

③ ICTによる患者サービス、業務効率の向上

市民病院では、業務の効率化と働き方改革の一環として、ICTの積極的な活用を進めており、2024年度までに取り組んだものは次のとおりです。

- ・放射線診断科の医師が自宅からMRIやCTなどの画像を診断できる遠隔読影システム3台を稼働
- ・RPAを活用した旧電子カルテ診療録データのPDF化（2025年8月現在の進捗率は83%）
- ・電子処方箋の運用を開始

2025年度には電子カルテへの生成AIシステムの導入や、整形外科において医師が院外から放射線画像を確認できる緊急時外部画像参照システムの運用開始を予定しており、今後もICTに関する積極的な情報収集と新規技術の導入により、質の高い医療の提供と業務効率の改善に取り組みます。

(6) 経営の効率化等

【市民病院】

① 収入確保に係る経営指標

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
入院延患者数(人)	目標 値 ①	—	173,200	174,700	176,200	178,200
	実 績 ②	167,533	167,448			
	達成率 ②/①(%)	—	96.7			
入院収益(百万円)	目標 値 ①	—	14,943	15,298	15,661	16,076
	実 績 ②	14,474	14,458			
	達成率 ②/①(%)	—	96.8			
入院診療単価 (円)	目標 値 ①	—	86,275	87,569	88,883	90,216
	実 績 ②	86,396	86,341			
	達成率 ②/①(%)	—	100.1			
平均在院日数 (一般病棟・日)	目標 値 ①	—	10.6	10.4	10.2	10.0
	実 績 ②	10.9	10.8			
	達成率 ①/②(%)	—	98.1			
病床利用率 (全体) (%)	目標 値 ①	—	79.8	80.6	81.3	82.0
	実 績 ②	77.1	77.2			
	達成率 ②/①(%)	—	96.7			
病床利用率 (一般病棟) (%)	目標 値 ①	—	81.3	82.1	82.8	83.5
	実 績 ②	78.5	79.0			
	達成率 ②/①(%)	—	97.2			
D P C 機能評価係数	目標 値 ①	—	1.5920	1.5930	1.5940	1.5950
	実 績 ②	1.5504	1.5415			
	達成率 ②/①(%)	—	96.8			
外来延患者数(人)	目標 値 ①	—	298,000	296,000	294,000	293,000
	実 績 ②	297,292	297,183			
	達成率 ②/①(%)	—	99.7			
外来収益(百万円)	目標 値 ①	—	7,259	7,319	7,378	7,464
	実 績 ②	7,372	7,139			
	達成率 ②/①(%)	—	98.3			
外来診療単価 (円)	目標 値 ①	—	24,360	24,725	25,096	25,473
	実 績 ②	24,798	24,021			
	達成率 ②/①(%)	—	98.6			

〈実施状況と評価〉

入院延患者数は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行によりある程度回復したものの目標値を下回り、2023年度実績とほぼ横ばいになりました。これに伴い入院収益、病床利用率ともに目標値を下回りました。

外来延患者数は、逆紹介の推進により 2023 年度実績とほぼ横ばいとなり、目標値にはわずかに届きませんでした。一方、外来収益は、高額な医薬品の院外処方化、薬価改定による医薬品単価の下落により、2024 年度実績は目標値及び 2023 年度実績のいずれも下回りました。

引き続き、地域医療機関との連携を強化し新規患者の獲得を促進するとともに救急受入体制の拡充を進め、患者数の増加と収益の回復を目指します。

② 収支改善に係る経営指標

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
経常損益(百万円)	目標値 ①	—	▲ 516	▲ 305	▲ 211	181
	実績 ②	▲ 326	▲ 1,060			
	達成率 ②/①(%)	—	48.7			
経常収支比率 (%)	目標値 ①	—	97.9	98.8	99.2	100.7
	実績 ②	98.7	95.7			
	達成率 ②/①(%)	—	97.8			
医業収支比率 (%)	目標値 ①	—	97.1	97.9	98.2	99.8
	実績 ②	97.9	95.7			
	達成率 ②/①(%)	—	98.6			
修正医業収支比率 (%)	目標値 ①	—	95.7	96.5	96.9	98.5
	実績 ②	96.5	94.3			
	達成率 ②/①(%)	—	98.5			

〈実施状況と評価〉

2024 年度の経常損益は 10 億 6,000 万円の損失となり、目標値を大きく下回る結果となりました。また、各指標についても、すべての指標で目標値を下回りました。これらの要因は、入院収益、外来収益等医業収益が減少したこと、給与費、光熱水費等医業費用が増加したことです。

収益の確保及び各種経営指標の目標達成のためには、患者数の増加が重要であり、その達成に向けて、地域医療機関との連携を強化し新規患者の獲得を推進するとともに、診療機能の更なる充実を図っていきます。これらの取組みにより、収益の安定確保に向けた体制の構築を一層推進していきます。

【木曽川市民病院】

① 収入確保に係る経営指標

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
入院延患者数(人)	目標値①	—	40,900	41,300	41,700	42,300
	実績②	40,792	40,648			
	達成率②/①(%)	—	99.4			
入院収益(百万円)	目標値①	—	1,462	1,491	1,514	1,543
	実績②	1,432	1,443			
	達成率②/①(%)	—	98.7			
入院診療単価(円)	目標値①	—	35,754	36,112	36,292	36,474
	実績②	35,105	35,492			
	達成率②/①(%)	—	99.3			
平均在院日数(全体・日)	目標値①	—	35.0	35.0	35.0	35.0
	実績②	47.2	48.7			
	達成率①/②(%)	—	71.9			
平均在院日数(一般・日)	目標値①	—	11.0	11.0	11.0	11.0
	実績②	22.2	16.7			
	達成率①/②(%)	—	65.9			
平均在院日数(地域包括ケア・日)	目標値①	—	33.0	33.0	33.0	33.0
	実績②	38.4	40.7			
	達成率①/②(%)	—	81.1			
平均在院日数(回復期リハビリテーション・日)	目標値①	—	61.0	61.0	61.0	61.0
	実績②	69.8	74.0			
	達成率①/②(%)	—	82.4			
病床利用率(全体・%)	目標値①	—	86.2	87.1	88.0	89.0
	実績②	85.7	85.7			
	達成率②/①(%)	—	99.4			
病床利用率(回復期リハビリテーション・%)	目標値①	—	94.0	94.0	94.0	94.0
	実績②	94.7	94.9			
	達成率②/①(%)	—	101.0			
外来延患者数(人)	目標値①	—	35,500	35,800	36,100	36,400
	実績②	33,866	33,572			
	達成率②/①(%)	—	94.6			
外来収益(百万円)	目標値①	—	559	572	585	599
	実績②	529	517			
	達成率②/①(%)	—	92.5			
外来診療単価(円)	目標値①	—	15,733	15,968	16,208	16,451
	実績②	15,609	15,403			
	達成率②/①(%)	—	97.9			

〈実施状況と評価〉

入院延患者数及び外来延患者数は、目標値及び 2023 年度実績のいずれも下回りました。これに伴い外来収益は目標値及び 2023 年度実績を下回ったものの、入院収益は診療報酬でベースアップ評価加算の新設により目標値には届きませんでしたが、2023 年度実績を上回る結果となりました。

引き続き、後方支援病院として在宅・生活復帰に向けた医療を提供し、地域医療機関との連携を一層強化し、患者数と収益の回復を目指します。

② 収支改善に係る経営指標

項目	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
経常損益(百万円)	目標 値 ①	—	▲ 65	▲ 40	▲ 85	25
	実 績 ②	▲ 69	▲ 224			
	達成率 ①/②(%)	—	29.0			
経常収支比率 (%)	目標 値 ①	—	97.3	98.4	96.7	101.0
	実 績 ②	97.1	91.0			
	達成率 ②/①(%)	—	93.5			
医業収支比率 (%)	目標 値 ①	—	90.8	91.5	89.5	94.0
	実 績 ②	88.9	86.2			
	達成率 ②/①(%)	—	94.9			
修正医業収支比率 (%)	目標 値 ①	—	87.8	88.5	86.7	91.1
	実 績 ②	85.9	83.4			
	達成率 ②/①(%)	—	95.0			

〈実施状況と評価〉

2024 年度の経常損益は 2 億 2,400 万円の損失となり、目標値を大きく下回る結果となりました。また、各指標についても、すべての指標で目標値を下回りました。これらの要因は、外来収益等医業収益が減少したこと、給与費、材料費、光熱水費等医業費用が増加したことです。

各種経営指標の目標達成のためには、人員配置や業務内容を見直すことで費用抑制するとともに、地域医療機関との連携を強化し患者数の増加につながるよう診療体制の構築を一層推進していきます。

(7) 収支計画と2024年度決算

【市民病院】

① 収益的収支

消費税抜き表示 (単位:百万円・%)

区分	2023年度 決算	2024年度			2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画	
		計画 ⑦	決算 ①	差引 ⑦-①				
収入	医業収益 A	22,464	22,801	22,222	▲ 579	23,216	23,638	24,139
	(うち修正医業収益 a(A-b))	22,151	22,491	21,901	▲ 590	22,906	23,327	23,828
	入院収益	14,474	14,943	14,458	▲ 485	15,298	15,661	16,076
	外来収益	7,372	7,259	7,139	▲ 120	7,319	7,378	7,464
	他会計負担金 b	313	310	321	11	310	311	311
	その他	305	289	304	15	289	288	288
	医業外収益 B	1,578	1,377	1,423	46	1,405	1,389	1,394
	他会計負担金	807	850	776	▲ 74	878	894	898
	国・県等補助金	306	62	80	18	62	62	62
	その他	465	465	567	102	465	433	434
支出	経常収益 C(A+B)	24,042	24,178	23,645	▲ 533	24,621	25,027	25,533
	医業費用 D	22,951	23,493	23,219	▲ 274	23,725	24,067	24,194
	給与費 c	10,602	10,545	11,158	613	10,700	10,857	11,016
	材料費	7,353	7,638	7,103	▲ 535	7,756	7,850	8,018
	(うち薬品費 d)	4,766	4,993	4,619	▲ 374	5,062	5,132	5,242
	(うち診療材料費 e)	2,552	2,609	2,448	▲ 161	2,657	2,683	2,740
	経費	3,105	3,575	3,272	▲ 303	3,579	3,662	3,586
	(うち委託料 f)	1,779	2,011	1,827	▲ 184	2,013	2,093	2,015
	減価償却費	1,789	1,597	1,574	▲ 23	1,509	1,560	1,437
	その他	102	138	112	▲ 26	181	138	137
特別損益	医業外費用 E	1,417	1,201	1,486	285	1,201	1,171	1,158
	支払利息	182	183	172	▲ 11	183	183	183
	その他	1,235	1,018	1,314	296	1,018	988	975
	経常費用 F(D+E)	24,368	24,694	24,705	11	24,926	25,238	25,352
	医業損益 G(A-D)	▲ 487	▲ 692	▲ 997	▲ 305	▲ 509	▲ 429	▲ 55
累積欠損金	経常損益 H(C-F)	▲ 326	▲ 516	▲ 1,060	▲ 544	▲ 305	▲ 211	181
	特別利益 I	2	0	60	60	0	0	0
	特別損失 J	2	2	49	47	11	7	27
純損益	特別損益 K(I-J)	0	▲ 2	11	13	▲ 11	▲ 7	▲ 27
	純損益 L(H+K)	▲ 326	▲ 518	▲ 1,049	▲ 531	▲ 316	▲ 218	154
累積欠損金	累積欠損金 M	▲ 6,518	▲ 7,483	▲ 7,567	▲ 84	▲ 7,798	▲ 8,016	▲ 7,862
	累積欠損金比率 -(M/A)	29.0	32.8	34.1	1.3	33.6	33.9	32.6
経常収支比率	経常収支比率 C/F	98.7	97.9	95.7	▲ 2.2	98.8	99.2	100.7
	医業収支比率 A/D	97.9	97.1	95.7	▲ 1.4	97.9	98.2	99.8
修正医業収支比率	修正医業収支比率 a/D	96.5	95.7	94.3	▲ 1.4	96.5	96.9	98.5
	対給与費修正医業収支比率 c/a	47.9	46.9	50.9	4.0	46.7	46.5	46.2
対薬品費修正医業収支比率	対薬品費修正医業収支比率 d/a	21.5	22.2	21.1	▲ 1.1	22.1	22.0	22.0
	対診療材料費修正医業収支比率 e/a	11.5	11.6	11.2	▲ 0.4	11.6	11.5	11.5
対委託料修正医業収支比率	対委託料修正医業収支比率 f/a	8.0	8.9	8.3	▲ 0.6	8.8	9.0	8.5

② 資本的収支

消費税込み表示 (単位:百万円)

区分	2023年度 決算	2024年度			2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画	
		計画 ⑦	決算 ①	差引 ①-⑦				
収入	1 他会計負担金	286	299	333	34	302	305	308
	2 その他	0	0	246	246	0	0	0
	収入計 A	286	299	579	280	302	305	308
支出	1 建設改良費	577	987	926	▲ 61	560	405	547
	2 企業債償還金	528	622	622	0	633	643	654
	3 リース債務支払額	403	359	351	▲ 8	239	330	365
	支出計 B	1,508	1,968	1,899	▲ 69	1,432	1,378	1,566
差引不足額 C(B-A)		1,222	1,669	1,320	▲ 349	1,130	1,073	1,258
補填財源	1 損益勘定留保資金	1,222	1,669	1,320	▲ 349	1,130	1,073	1,258
	2 その他	0	0	0	0	0	0	0
	計 D	1,222	1,669	1,320	▲ 349	1,130	1,073	1,258
補填財源不足額 E(C-D)		0	0	0	0	0	0	0

③ 純資産の額等

(単位:百万円)

区分	2023年度 決算	2024年度			2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画
		計画 ⑦	決算 ①	差引 ①-⑦			
純資産の額	8,914	7,951	7,865	▲ 86	7,636	7,420	7,574
現金預金残高	5,487	4,164	4,647	483	4,176	4,390	4,675
企業債残高	10,823	10,200	10,445	245	9,567	8,924	8,270
リース債務残高	908	725	774	49	586	1,056	781

【木曽川市民病院】

① 収益的収支

消費税抜き表示 (単位: 百万円・%)

区分	2023年度 決算	2024年度			2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画	
		計画 ⑦	決算 ①	差引 ①-⑦				
収入	医業収益 A	2,068	2,143	2,068	▲ 75	2,197	2,246	2,304
	(うち修正医業収益 a(A-b))	1,998	2,072	2,001	▲ 71	2,126	2,175	2,233
	入院収益	1,432	1,462	1,443	▲ 19	1,491	1,514	1,543
	外来収益	529	559	517	▲ 42	572	585	599
	他会計負担金 b	70	71	67	▲ 4	71	71	71
	その他	37	51	41	▲ 10	63	76	91
	医業外収益 B	277	190	198	8	202	214	209
	他会計負担金	150	158	150	▲ 8	172	171	170
	国・県等補助金	90	0	11	11	0	0	0
	その他	37	32	37	5	30	43	39
支出	経常収益 C(A+B)	2,345	2,333	2,266	▲ 67	2,399	2,460	2,513
	医業費用 D	2,327	2,361	2,400	39	2,402	2,509	2,451
	給与費 c	1,516	1,526	1,579	53	1,542	1,557	1,573
	材料費	257	300	245	▲ 55	305	310	315
	(うち薬品費 d)	146	180	129	▲ 51	184	187	191
	(うち診療材料費 e)	49	57	50	▲ 7	57	57	57
	経費	430	421	466	45	421	501	422
	(うち委託料 f)	237	220	253	33	220	220	220
	減価償却費	116	105	101	▲ 4	125	128	132
	その他	8	9	9	0	9	13	9
支出し	医業外費用 E	87	37	90	53	37	36	37
	支払利息	8	7	7	0	6	5	4
	その他	79	30	83	53	31	31	33
	経常費用 F(D+E)	2,414	2,398	2,490	92	2,439	2,545	2,488
	医業損益 G(A-D)	▲ 259	▲ 218	▲ 332	▲ 114	▲ 205	▲ 263	▲ 147
特別損益	経常損益 H(C-F)	▲ 69	▲ 65	▲ 224	▲ 159	▲ 40	▲ 85	25
	特別利益 I	2	0	1	1	0	0	0
	特別損失 J	3	2	1	▲ 1	2	2	2
	特別損益 K(I-J)	▲ 1	▲ 2	0	2	▲ 2	▲ 2	▲ 2
純損益 L(H+K)		▲ 70	▲ 67	▲ 224	▲ 157	▲ 42	▲ 87	23
累積欠損金 M		▲ 2,211	▲ 2,328	▲ 2,435	▲ 107	▲ 2,370	▲ 2,457	▲ 2,434
累積欠損金比率 -(M/A)		106.9	108.6	117.7	9.1	107.9	109.4	105.6
経常収支比率 C/F		97.1	97.3	91.0	▲ 6.3	98.4	96.7	101.0
医業収支比率 A/D		88.9	90.8	86.2	▲ 4.6	91.5	89.5	94.0
修正医業収支比率 a/D		85.9	87.8	83.4	▲ 4.4	88.5	86.7	91.1
対給与費修正医業収支比率 c/a		75.9	73.6	78.9	5.3	72.5	71.6	70.4
対薬品費修正医業収支比率 d/a		7.3	8.7	6.4	▲ 2.3	8.7	8.6	8.6
対診療材料費修正医業収支比率 e/a		2.5	2.8	2.5	▲ 0.3	2.7	2.6	2.6
対委託料修正医業収支比率 f/a		11.9	10.6	12.6	2.0	10.3	10.1	9.9

② 資本的収支

消費税込み表示 (単位:百万円)

区分	2023年度 決算	2024年度			2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画	
		計画 ⑦	決算 ①	差引 ①-⑦				
収入	1 他会計負担金	38	39	53	14	70	80	78
	2 その他	0	0	0	0	0	0	0
収入計 A		38	39	53	14	70	80	78
支出	1 建設改良費	26	190	73	▲ 117	75	227	73
	2 企業債償還金	59	60	60	0	61	62	63
	3 リース債務支払額	16	14	14	0	3	0	0
	支出計 B	101	264	147	▲ 117	139	289	136
差引不足額 C(B-A)		150	225	94	▲ 131	69	209	58
補填財源	1 損益勘定留保資金	63	225	94	▲ 131	69	209	58
	2 その他	37	0	0	0	0	0	0
	計 D	100	225	94	▲ 131	69	209	58
補填財源不足額 E(C-D)		50	0	0	0	0	0	0

③ 純資産の額等

(単位:百万円)

区分	2023年度 決算	2024年度			2025年度 計画	2026年度 計画	2027年度 計画
		計画 ⑦	決算 ①	差引 ①-⑦			
純資産の額	1,585	1,467	1,361	▲ 106	1,425	1,337	1,362
現金預金残高	1,913	1,786	1,711	▲ 75	1,885	1,788	1,964
企業債残高	381	321	321	0	260	198	134
リース債務残高	17	3	3	0	0	0	0

3 総括

本市の病院事業は、市民病院が尾張西部医療圏の中核病院として高度急性期医療を、木曽川市民病院は市民病院の後方支援病院として回復期医療を担っています。2024 年度においても、両病院はそれぞれの役割を果たすため、医療機能・医療サービスの向上と経営健全化に向けた様々な取組みを実施しました。その結果、強化プランに掲げた数値目標の達成状況は、市民病院 41 項目中 13 項目 (31.7%)、木曽川市民病院 28 項目中 9 項目 (32.1%) となりました。

決算においては、患者数は目標及び前年度実績を下回り医業収益が伸び悩んだうえ、人件費の上昇や物価高騰の影響を大きく受け、経常損益は市民病院 10 億 6,000 万円、木曽川市民病院 2 億 2,400 万円の赤字となり、いずれも強化プランの想定を超える損失となりました。

近年の人件費上昇や物価高騰といった社会情勢の変化により、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくために不可欠な医師、看護師等の人件費や薬品、診療材料等の材料費などの経費は、年々増加の一途をたどっています。これに対し、収益の大部分を占める診療報酬は公定価格であり、価格転嫁を行うことができないため、今後も厳しい経営環境が続くと懸念されます。

このような状況に対応するため、地域医療機関との連携強化や、スムーズな救急患者の受入体制の整備など集患施策を着実に実施するとともに、財政基盤の強化、人材確保・育成及び組織運営の効率化に一層取り組んでいきます。これらの取組みを総合的に推進することで、将来にわたり持続可能な医療提供体制を確保するための経営体制の確立を目指してまいります。